

わざわざボ！第5回「物撮り見学とモデル撮影実体験」

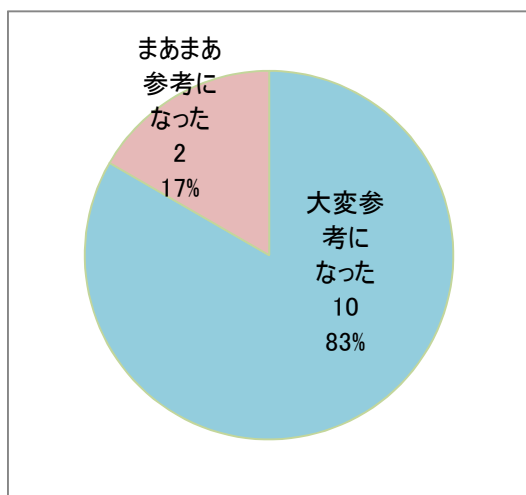
開催日：2015年3月20日（金）13時～17時

場所：(株)エフエイトフォトスタジオ

参加者数：12名（定員15名）

アンケート回収数：12

1. プロのフォトグラファーの撮影 （物撮り・モデル撮影）を見ていかがでしたか？



ライティングと回答
した方が圧倒的

【 参考になったことを具体的に 】

- ライティング（物撮り）によって物の形を出していく過程を見られて参考になった
- ライティングの考え方
- 物撮りのライティング詳細
- ライティングの説明、特にモデル撮影時のライティングがシンプルだったのに驚きました
- 人物撮影は見たことはあったが、物撮りや実際にカメラを使用しての撮影を初めて体験出来たこと
- レタッチにこだわるポイント、撮影時にこだわるポイント
- システム、機材等
- プロの現場を見るのが初めてだったので、物撮りの際のライティングにどれだけの機材が使われているのかや、一つの物を撮るのにどれだけの人と時間がかけられているのかが体感できたこと
- 現場感到触れられたこと
- 物撮りとモデル撮影のライティングの違い
- 光のあて方

2. ヘアメイクの実際について

- 割と濃いメイクにしないとライティングでだいぶ薄く感じてしまうということ。雰囲気、イメージなどメイクは大変重要であることがわかりました
- 撮影イメージをヘアメイクさんに伝えることの大切さ
- デザイナーはヘアメイクとの打ち合わせをキチンとすべきこと
- やはりベテランのヘアメイクさんはいいですね！
- コミュニケーションを取ることが大切なことだと改めて感じた。自分がメイクされているときに、メイクさんが笑顔でいてくれることで安心感があった。常にこやかで話しやすい雰囲気でいたいと思った
- 前段階が重要ということを知った。この経験は活かせると思う

*時間の都合で撮影に回った人は、見られませんでした。すいません！

3. モデルを撮影してみて

- モデルへのポーズ指示の難しさがわかった。きちんと撮りたいポーズを用意しないとうまく伝えられない。
- 表情の指示やコミュニケーションを取ることを教わりました
- 光への気の配り方
- モデルさんをどのように導いていくかは実際にやってみると難しい
- 新鮮でした！カメラマンからの見え方、指示の出し方、参考になりました
- モデルと撮影する側をどちらも体験出来て、指示などをする時は具体的に相手に伝えることが大切だと思った。スタジオで撮影するのが初めてで楽しかった
- 今後シューティングオーディションをメインでやっていくので今回の体験を基にしてやっていけると思います
- 立ち位置でコントラストが変わり、印象が変わるのが参考になりました
- ディレクターやデザイナーからどういう指示があると撮りやすいのか知りたかった

4. レタッチ作業を見て

- 自分でレタッチしなければならないラフ段階などですぐに実用できる肌のなまかせ方など参考になった
- 作業手順・方法・ツールの使い方、考え方
- レタッチを専門にすることはあまりないが、今後の仕事に活かせることが多々あった
- 知らないやり方がたくさんあるので勉強しなければと思った
- 普段扱っている広告用 CG と基本は同じだと思った
- 自分も勉強しなければと思った
- 自己流のレタッチになっていたのでも勉強になりました
- 加減などが難しい仕事だと思った
- 質感を殺さずということ、細かいところまで見ていく必要があると思った
- レイヤーの使い分けが参考になった
- レタッチに使用しているツールが見られたこと（スタンプツールなど）
- 説明の音がほとんど聞こえなかった

ライティングの深掘りと、デザイナーやディレクターがどのように撮影までのプロセスに関わり、現場でどのように指示を出しているのかなどを知りたい声が多い

5. 全体的な感想や要望など

- もう少し物撮りが見たかった
- 物撮りにもっと時間をかけて欲しかった（特にライティング、反射などのテクニク）
- 撮影について全くの素人なのでこのような講座があつてとても嬉しかった。ライティングについてもっと知りたくなった
- ライティングのバリエーションをもっと見てみたかった。複数のライトの強さの比率、具体的な数字など
- アートディレクターがディレクションをする内容が知りたかった
- 今回はフォトグラファーの立場と体験がメインだったが、次回受講するならデザイナー、ディレクターとしてどうやって効率的に、効果的に写真を撮れるのかを学びたい
- 撮影現場でのデザイナーの動きをもっと少し知りたかった
- 撮影までのプロセスを知りたい。ディレクターやデザイナーとどう打合せをして、撮影日までもっていくのか
- コミュニケーションの重要性を改めて実感した。学生のうちにプロの現場を見ておくことができ貴重な体験になった
- 素人モデルを撮る企画が楽しかった
- 実際に体験することで雰囲気の出し方、ポーズ指定などモデルに頼りきりではいけないとよくわかりました。
- ずっと立ちっぱなしだったので腰が痛くなった。1時間やって10分休憩などのリズムのほうが集中力が続いた。